

○ **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち

○ **基本的政策** :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります

○ **施策** :02文化財の保存・継承

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	8008
指標の目標値	311件	算出方法		○継続	ハード	担当課名	歴史文化振興課
関係法令市条例等	文化財保護法、東近江市伝統的建造物群保存地区保存条例			関連計画	五個荘金堂伝統的建造物群保存地区保存計画、東近江市歴史文化基本構想	作成者	西 邦和
事務事業概要	国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された五個荘金堂町のまちなみを、市を代表する歴史的遺産として、建造物及びその他物件の修理・修景工事に対して補助を行い、住民主体のまちづくりを支援しています。					予算	会計名
事務事業名	伝統的建造物群保存事業			大事業コード	050000	款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 伝建保存審議委員会の開催 ・伝建保存修理事業の審議・採択 年2回開催 2 伝統的建造物群保存修理 ・緊急物件を除く6件に対し保存修理補助 五個荘金堂自治会館土蔵修理 正源寺地藏堂修理 山脇良之家住宅納屋修理 弘誓寺井戸屋形修理 塚本三夫家住宅納屋修理 外村与左衛門家住宅土蔵修理 3 金堂まちなみ保存会の活動支援補助 4 防災施設の設置 ・維持管理と防災啓発 ・まちなみ消火器の更新 5 金堂まちなみ保存交流館の運営 6 伝建事業まちなみ相談業務 ・伝建保存事業相談業務委託	1 伝建保存審議委員会の開催 ・伝建保存修理事業の審議・採択 年2回開催 ・耐震化小委員会 2 伝統的建造物群保存修理 ・緊急物件を除く4件に対し保存修理補助 外村与左衛門家住宅土蔵修理 五個荘金堂自治会館土蔵修理 西村寛家住宅主屋修理 塚本久子家住宅主屋修理 3 金堂まちなみ保存会の活動支援補助 4 防災施設の設置 ・維持管理と防災啓発 ・まちなみ消火器、消火器ボックスの更新 5 金堂まちなみ保存交流館の運営 ・金堂まちなみ保存交流館塀修理 6 伝建事業まちなみ相談業務 ・伝建保存事業相談業務委託 7 重伝建選定25周年記念事業 ・五個荘金堂まちなみ保存事業の歩み3の刊行	1 伝建保存審議委員会の開催 ・伝建保存修理事業の審議・採択 年2回開催 2 伝統的建造物群保存修理 ・緊急物件を除く4件程度に対し保存修理補助 3 金堂まちなみ保存会の活動支援補助 4 防災施設の設置 ・維持管理と防災啓発 ・まちなみ消火器、消火器ボックスの更新 5 金堂まちなみ保存交流館の運営 6 伝建事業まちなみ相談業務 ・伝建保存事業相談業務委託
指標の年度目標値	305件	307件	309件	311件
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 26,733千円 国庫支出金 12,236千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 12,700千円 一般財源 1,797千円	予算額 30,533千円 国庫支出金 11,004千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 10,500千円 一般財源 9,029千円		
職員数/人件費	正 1.4人 会計任 0.5人 9,617千円	正 1.6人 会計任 0.5人 10,968千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	205件	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																				
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 伝統的建造物群保存地区保存審議会において、修理工事の緊急性等を考慮しながら、補助事業物件の審議をした。その審議結果に基づき、国庫補助により伝統的建造物6件の保存修理工事に対して補助を行った。 今後とも文化財を保存する手段として積極的な活用につなげるため、地域住民とともに「保存活用計画」の策定が必要である。		<改善内容> 伝統的建造物の耐震化を推進するとともに、まちなみ保存に向け補助事業を実施する。 伝統的建造物群保存地区の活性化につながるよう関係部署や地元組織等と連携し「保存活用計画」策定への気運を醸成する。		<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合 手段見直</td> <td>人員</td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続	拡大	拡大	現状	縮小	削減	事業統合 手段見直	人員	休止・廃止	拡大	完了	現状		削減
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																						
現状維持	○ 財源																								
見直して継続	拡大																								
拡大	現状																								
縮小	削減																								
事業統合 手段見直	人員																								
休止・廃止	拡大																								
完了	現状																								
	削減																								

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります
- **施策** :02文化財の保存・継承

事務事業名
文化財保護事業

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	8009
指標の目標値	311件	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	歴史文化振興課
関係法令 市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			関連計画	東近江市歴史文化基本構想	作成者	西 邦和
事務事業概要	かけがえのない文化財を保護し、次代に伝えていくことを目的として、様々な文化財から地域の個性を明らかにし、これらを活用した文化性の高いまちづくりを地域が主体となって進められるよう支援を行います。					予算	会計名
						大事業コード	010000
						款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 文化財保護審議会の開催 2 文化財説明板の設置・改修 3 文化財調査 ・未指定文化財調査 ・瓦屋寺境内歴史的建造物調査 4 文化財保存修理事業 ・文化財保存修理補助 市指定瓦屋寺木造四天王立像保存修理事業 龍田神社拝殿保存修理事業 ・指定文化財保存管理事業補助 5 文化財の保存活用 ・文化財保存活用地域計画協議会の開催 ・文化財防火査察、文化財講座などの実施 6 伝統文化の保存継承 ・民俗芸能保存団体の育成と支援 ・地域文化継承支援 7 各種刊行物の発刊 ・瓦屋寺境内歴史的建造物調査報告書	1 文化財保護審議会の開催 2 文化財説明板の設置・改修 3 文化財調査 ・未指定文化財調査 百済寺文書調査、梵釈寺本堂調査 ・渡来文化調査 4 文化財保存修理事業 ・文化財保存修理補助 市指定苗村神社本殿保存修理事業 重要文化財百済寺本尊十一面観音立像保存修理事業 5 文化財の保存活用 ・文化財防火査察、文化財講座などの実施 6 伝統文化の保存継承 ・民俗芸能保存団体の育成と支援 ・地域文化継承支援 7 各種刊行物の発刊 ・渡来文化調査報告書	1 文化財保護審議会の開催 2 文化財説明板の設置・改修 3 文化財調査 ・未指定文化財調査 建部祭調査、永源寺境内建造物調査 4 文化財保存修理事業 ・文化財保存修理補助 市指定苗村神社本殿保存修理事業 ・指定文化財保存管理事業補助 重要文化財布施神社本殿防災設備更新等 5 文化財の保存活用 ・文化財防火査察、文化財講座などの実施 6 伝統文化の保存継承 ・民俗芸能保存団体の育成と支援 ・地域文化継承支援 7 各種刊行物の発刊 ・渡来文化調査報告書	1 文化財保護審議会の開催 2 文化財説明板の設置・改修 3 文化財調査 ・未指定文化財調査 永源寺境内建造物調査 4 文化財保存修理事業 ・文化財保存修理補助 ・指定文化財保存管理事業補助 5 文化財の保存活用 ・文化財防火査察、文化財講座などの実施 6 伝統文化の保存継承 ・民俗芸能保存団体の育成と支援 ・地域文化継承支援 7 各種刊行物の発刊																							
指標の年度目標値	305件	307件	309件	311件																								
事業の優先度	B	B																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>16,861千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>91千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>12,962千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,808千円</td></tr> </table>	決算額	16,861千円	国庫支出金	91千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	12,962千円	一般財源	3,808千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>15,773千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>900千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7,264千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,609千円</td></tr> </table>	予算額	15,773千円	国庫支出金	900千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	7,264千円	一般財源	7,609千円		
決算額	16,861千円																											
国庫支出金	91千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	12,962千円																											
一般財源	3,808千円																											
予算額	15,773千円																											
国庫支出金	900千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	7,264千円																											
一般財源	7,609千円																											
職員数/人件費	正 3.35人 会計任 2.14人 24,225千円	正 2.6人 会計任 0.2人 15,233千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	205件	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
	瓦屋寺境内歴史的建造物調査等を行い、指定等に向けた文化財調査に取り組むとともに、瓦屋寺四天王立像及び龍田神社拝殿の修理補助を行い、指導を行った。また、文化財保存活用地域計画協議会を開催し、計画策定を進めた。課題としては、文化財の保存・活用に関する具体的な事業計画が無いため、アクションプランをまとめた地域計画が必要となる。また、コロナ禍で地域の伝統文化の伝承が困難となっている。		文化財の保存と活用の好循環に向けた指針となる文化財保存活用地域計画の作成を進める。建造物では、引き続き歴史的建造物調査に取り組むとともに、市指定有形文化財苗村神社本殿の屋根修理工事に対して補助を行う。美術工芸品では、重要文化財百済寺本尊十一面観音立像保存修理に対して補助する。また、地域文化継承支援を実施する。		現状維持	○ 財源	
					見直しして継続		拡大
					拡大		現状
					縮小		削減
				事業統合		人員	
				手段見直し			
				休止・廃止		拡大	
						現状	
				完了		削減	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくりまします
- 施策 :02文化財の保存・継承

事務事業名
文化的景観保存事業

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	○新規	○ソフト	事務事業コード	8010
指標の目標値	311件	算出方法		継続	ハード	担当課名	歴史文化振興課
関係法令 市条例等	文化財保護法、景観法、東近江市景観計画、東近江市風景づくり条例		関連計画	文化的景観「伊庭の内湖と農村景観」保存計画、東近江市歴史文化基本構想		作成者	西 邦和
事務事業概要	国の重要文化的景観である「伊庭内湖の農村景観」について、その重要構成要素の修理等工事に対する支援を行い、保存活用計画に基づき良好な景観を将来に保存継承する。			予算	会計名	一般会計	
						大事業コード	110000
						款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 重要景観構成要素修理・修景事業 ・重要景観構成要素の修理・修景補助 織峰三神社撰社稲荷社鳥居修理 陣屋稲荷守国大明神覆屋修理 薬師堂門修理 3 文化的景観整備活用計画策定事業 ・文化的景観整備活用委員会の開催	1 重要景観構成要素修理・修景事業 ・重要景観構成要素の修理・修景補助 大濱神社拝殿修理 望湖神社幣殿修理 2 重要景観構成要素調査事業 ・新規重要景観構成要素選定に向けた調査の実施 ・新規重要景観構成要素の選定申し出 ・文化的景観整備活用計画書印刷 3 文化的景観整備活用計画策定事業 ・文化的景観整備活用委員会の開催 4 重要文化的景観選定5周年事業 ・記念講演会の開催 ・記念誌の印刷	1 重要景観構成要素修理・修景事業 ・重要景観構成要素の修理・修景補助 2 重要景観構成要素調査事業 ・新規重要景観構成要素選定に向けた調査の実施 ・新規重要景観構成要素の選定申し出
指標の年度目標値	305件	307件	309件	311件
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	1,575千円	8,825千円		
	国庫支出金	3,650千円		
	県支出金	0千円		
	市債	0千円		
市債	0千円			
その他	2,000千円			
一般財源	3,175千円			
588千円	9,866千円			
職員数/人件費	正 0.8人 会計任 0人 5,264千円	正 1.6人 会計任 0.18人 9,866千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	205件	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																																	
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 重要景観構成要素の修理・修景事業3件に補助を行うとともに、文化的景観整備活用計画の策定に取り掛かった。 また、重要景観構成要素の修理物件が増加傾向にあり、計画的な修理が必要である。		<改善内容> 重要景観構成要素の修理・修景事業3件程度に補助を行う。 文化的景観整備活用計画委員会を開催し、文化的景観整備活用計画を策定する。		<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続		拡大	拡大		現状	縮小		削減	事業統合	人員		手段見直			休止・廃止		拡大			現状			削減	完了		
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																																			
	現状維持	○ 財源																																				
	見直して継続		拡大																																			
	拡大		現状																																			
縮小		削減																																				
事業統合	人員																																					
手段見直																																						
休止・廃止		拡大																																				
		現状																																				
		削減																																				
完了																																						

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります
- 施策 :01地域文化の継承と創造

事務事業名
博物館等管理運営事業

指標名	博物館利用者数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	437
指標の目標値	41,000人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	博物館構想推進課
関係法令 市条例等	-	関連計画	東近江市歴史文化基本構想			作成者	嶋田 直人
事務事業概要	それぞれの博物館施設等の特徴をいかし、地域で守り育てられてきた豊かな自然・歴史・文化・伝統などを継承していくとともに、地域の魅力に磨きをかけ様々な情報発信ができる環境整備・施設運営を行います。					予算 会計名	一般会計
						大事業コード	040000
						款項目	100509

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) (実績)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 管理施設 近江商人博物館・中路融人記念館、探検の殿堂、能登川博物館、ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館、てんびんの里文化学習センター、八日市文芸等	1 管理施設 近江商人博物館・中路融人記念館、探検の殿堂、能登川博物館、ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館、てんびんの里文化学習センター、八日市文芸等	1 管理施設 近江商人博物館・中路融人記念館、探検の殿堂、能登川博物館、ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館、てんびんの里文化学習センター、八日市文芸等	1 管理施設 近江商人博物館・中路融人記念館、探検の殿堂、能登川博物館、ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館、てんびんの里文化学習センター、八日市文芸等
2 博物館等運営委員会等の開催	2 博物館等運営委員会等の開催	2 博物館等運営委員会等の開催	2 博物館等運営委員会等の開催	2 博物館等運営委員会等の開催
3 常設・企画展示	3 常設・企画展示	3 常設・企画展示	3 常設・企画展示	3 常設・企画展示
4 各種体験活動	4 各種体験活動	4 各種体験活動	4 各種体験活動	4 各種体験活動
5 講演会・出前講座等の実施	5 講演会・出前講座等の実施	5 講演会・出前講座等の実施	5 講演会・出前講座等の実施	5 講演会・出前講座等の実施
Plan 1 6 図録、グッズ等の販売	6 図録、グッズ等の販売	6 図録、グッズ等の販売	6 図録、グッズ等の販売	6 図録、グッズ等の販売
Do 2 7 保管資料の保存・継承 ・ガリ版伝承館資料整理	7 保管資料の保存・継承 ・ガリ版伝承館資料整理	7 保管資料の保存・継承 ・ガリ版伝承館資料整理	7 保管資料の保存・継承 ・ガリ版伝承館資料整理	7 保管資料の保存・継承 ・ガリ版伝承館資料整理
8 もっと知りたい東近江市の実施	8 もっと知りたい東近江市の実施	8 もっと知りたい東近江市の実施	8 もっと知りたい東近江市の実施	8 もっと知りたい東近江市の実施
9 市民サポーターの育成	9 市民サポーターの育成	9 市民サポーターの育成	9 市民サポーターの育成	9 市民サポーターの育成
10 博物館構想策定	10 森の文化情報発信拠点施設整備推進	10 森の文化情報発信拠点施設整備推進	10 森の文化情報発信拠点施設整備推進	10 森の文化情報発信拠点施設整備推進
指標の年度目標値	38,000人	39,000人	40,000人	41,000人
事業の優先度	A	A	A	A
事業の財源	決算額	予算額		
	161,000千円	国庫支出金	9,000千円	0千円
		県支出金	0千円	0千円
		市債	0千円	0千円
		その他	25,163千円	28,908千円
一般財源	126,837千円	128,814千円		
職員数/人件費	正 6.15人 会計任 9.7人 68,189千円	正 6.95人 会計任 9.78人 68,786千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	19,889人	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> コロナ禍の中、博物館等への来館者の満足度を増すために、展示や体験学習活動等の充実を図った。また、市民サポーターの育成に努め、来館者のニーズに応えられる体制を整えた。 経年劣化した施設修繕については、緊急性の高いものから順次実施した。 東近江市歴史文化基本構想を基に地域資源の発信の場としての運営を目指すとともに、東近江市博物館構想（R5.3策定）に基づき博物館ネットワークの構築と収蔵資料のアーカイブを進める必要がある。	<改善内容> 市立博物館（近江商人博物館・中路融人記念館、探検の殿堂、能登川博物館、ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館）のネットワーク化を進め、共通テーマや連携事業等を実施することで、東近江市として一体感を意識し、全体として「東近江市」が実感できる取組を充実させる。 各博物館館蔵資料のデータベースの統合や、相互利用等ができるようアーカイブ化を計画的に進めます。	事業の方向性 資源(財源・人)の配分 事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直
			財源 拡大 現状 削減
			人員 拡大 現状 削減
			休止・廃止 完了

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります

○施策 :02文化財の保存・継承

事務事業名
埋蔵文化財保護事業

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	312
指標の目標値	311件	算出方法		○継続	ハード	担当課名	埋蔵文化財センター
関係法令 市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等			関連計画	国史跡百濟寺境内保存管理計画、史跡雪野山古墳保存活用計画、東近江市歴史文化基本構想	作成者	杉浦 隆支
事務事業概要	かけがえのないふるさとの歴史文化を大切に、それらの適切な保存を図ることを目的に、個人住宅や農業関連施設の建設に伴う発掘調査と、民間開発や公共事業に先立つ遺跡範囲確認調査等を実施し、重要な遺跡については史跡に指定することにより保護します。また、合併以前の旧市町保管出土遺物を埋蔵文化財センターにおいて一括管理します。					予算	会計名 大事業コード 款項目

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 市内遺跡発掘調査等事業(国・県補助事業) ・個人住宅等建設に伴う本調査・整理調査本調査2件 ・民間・公共開発等の関連試掘立会調査33現場 ・調査報告書刊行(市内遺跡分) 埋蔵文化財発掘調査報告書第44集 2 史跡指定に向けた調査 3 埋蔵文化財GIS地図システムの運用保守 4 里山と文化財が織りなす地域資源再生事業 ・石馬寺遺跡の整備 樹木間伐1.4平方メートル 遺跡説明看板1基、案内看板1基設置	1 市内遺跡発掘調査等事業(国・県補助事業) ・個人住宅等建設に伴う本調査・整理調査 ・民間・公共開発等の関連試掘調査 ・調査報告書刊行(市内遺跡分) 2 史跡指定に向けた調査 3 埋蔵文化財GIS地図システムの運用保守 4 里山と文化財が織りなす地域資源再生事業 ・石馬寺遺跡の整備	1 市内遺跡発掘調査等事業(国・県補助事業) ・個人住宅等建設に伴う本調査・整理調査 ・民間・公共開発等の関連試掘調査 ・調査報告書刊行(市内遺跡分) 2 史跡指定に向けた調査 3 埋蔵文化財GIS地図システムの運用保守
指標の年度目標値	305件	307件	309件	311件
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 4,441千円 国庫支出金 1,509千円 県支出金 2,155千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 777千円	予算額 5,440千円 国庫支出金 1,310千円 県支出金 2,385千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 1,745千円		
職員数/人件費	正 0.7人 会計任 0.3人 4,755千円	正 0.55人 会計任 0.55人 4,330千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	205件	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 開発事業者等と事前の打合せや調整を図ることによりスムーズに発掘調査を実施できた。過去の発掘調査結果データを今後の開発行為の参考とするために、GIS地図情報システムの更なるデータ登録作業が必要である。		<改善内容> 開発事業は突発的に起こることがあるため、市役所開発部局との連絡調整を行う。また、開発業者側への文化財保護法及び埋蔵文化財包蔵地の周知を行う。	
			事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
		事業の方向性と資源の配分の内容		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくりまします
- 施策 :02文化財の保存・継承

事務事業名
埋蔵文化財保護受託等事業

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	313
指標の目標値	311件	算出方法		○継続	ハード	担当課名	埋蔵文化財センター
関係法令 市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等			関連計画	国史跡百済寺境内保存管理計画、史跡雪野山古墳保存活用計画、東近江市歴史文化基本構想	作成者	杉浦 隆支
事務事業概要	民間開発と公共事業等の開発行為に伴う発掘調査を原因者の依頼（調査費用は原因者負担）により実施します。また、現地の発掘調査を実施した後、埋蔵文化財センターにて整理調査を行い調査報告書の刊行を行います。なお、調査成果は公表に努めるとともに、重要な成果が得られた場合は現地説明会や速報展等を実施します。					予算	会計名
						大事業コード	030000
						款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 公共事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・市道能登川北部線に伴う発掘、整理調査 2 民間受託事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・天保遺跡 発掘、整理、調査報告書（45集） ・鍛冶屋遺跡 発掘、整理調査	1 公共事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・市道能登川北部線に伴う発掘、整理調査 2 民間受託事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・天保遺跡 発掘、整理、調査報告書（45集） ・鍛冶屋遺跡 発掘、整理調査	1 公共事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・市道能登川北部線に伴う発掘調査 2 民間受託事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行	1 公共事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行 ・市道能登川北部線に伴う発掘調査 2 民間受託事業に伴う発掘調査・整理調査・調査報告書の刊行
指標の年度目標値 事業の優先度	305件 -	307件 -	309件	311件
事業の財源	決算額 16,605千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 14,214千円 一般財源 2,391千円	予算額 21,967千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 15,726千円 一般財源 6,241千円		
職員数/人件費	正 1人 会計任 0.47人 7,389千円	正 0.55人 会計任 0.65人 4,581千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	205件	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 民間開発等に伴う緊急発掘調査に速やかに対応した。また、開発部局等と緻密に連携を行った。緊急な発掘調査とならないように開発業者等との時間的余裕をもった事前協議への周知が必要である。	<改善内容> 開発業者等へ早期の事前協議の周知を行い、開発状況の的確な把握と今後の発掘調査を予測し対応する。	事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
					事業の方向性と資源の配分の内容

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります
- 施策 :02文化財の保存・継承

指標名	市内指定文化財件数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	8011
指標の目標値	311件	算出方法	目標年（令和07年度）	○継続	ハード	担当課名	埋蔵文化財センター
関係法令市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等			関連計画	国史跡百濟寺境内保存管理計画、史跡雪野山古墳保存活用計画、東近江市歴史文化基本構想	作成者	杉浦 隆支
事務事業概要	市内にある国・県・市指定の史跡、名勝及び天然記念物の維持・管理を行います。					予算	会計名
事務事業名	史跡等管理運営事業			大事業コード		款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 史跡等の管理(除草、説明板設置等) ・国指定史跡 雪野山古墳 伊庭御殿跡 百濟寺遺跡 ・県指定史跡 後藤館跡、行者塚古墳・おから山古墳・赤塚古墳・弁天塚古墳(勝堂古墳群) ・公園管理 法堂寺遺跡公園、悠久の丘あかね古墳公園 2 国天然記念物の管理 ・「ハナノキ」管理事業 3 史跡の活用 古墳の魅力再発見事業 樹木間伐、木製ベンチ・説明案内看板設置	1 史跡等の管理(除草、説明板設置等) ・国指定史跡 雪野山古墳 伊庭御殿跡 百濟寺境内 ・県指定史跡 後藤館跡、行者塚古墳・おから山古墳・赤塚古墳・弁天塚古墳(勝堂古墳群) ・公園管理 法堂寺遺跡公園、悠久の丘あかね古墳公園 2 国天然記念物の管理 ・「ハナノキ」管理事業 南花沢のハナノキ樹勢回復事業 北花沢のハナノキ樹勢回復事業 3 史跡の保存活用計画 国史跡百濟寺境内保存活用計画の策定	1 史跡等の管理(除草、説明板設置等) ・国指定史跡 雪野山古墳 伊庭御殿跡 百濟寺境内 ・県指定史跡 後藤館跡、行者塚古墳・おから山古墳・赤塚古墳・弁天塚古墳(勝堂古墳群) ・公園管理 法堂寺遺跡公園、悠久の丘あかね古墳公園 2 国天然記念物の管理 ・「ハナノキ」管理事業 南花沢のハナノキ樹勢回復事業 北花沢のハナノキ樹勢回復事業 3 史跡の保存活用計画 国史跡百濟寺境内保存活用計画の策定 4 史跡説明看板的設置 5 あかね古墳公園(天乞山古墳)墳丘修理 設計監理
指標の年度目標値	305件	307件	309件	311件
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 4,317千円 国庫支出金 1,405千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 2,912千円	予算額 11,003千円 国庫支出金 2,000千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 9,003千円		
職員数/人件費	正 1.6人 会計任 0人 12,726千円	正 0.4人 会計任 0.15人 2,776千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	205件	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 県史跡勝堂古墳群について、県と地元の要望等も踏まえ協議し、協働で管理した。 史跡名勝天然記念物について地域と協働で管理できるよう検討する必要がある。	<改善内容> 従前に指定された国史跡百濟寺境内、国史跡伊庭御殿跡、市指定史跡や名勝天然記念物について、地元と協働で保存管理を行っていきけるよう協議を進める。 北花沢、南花沢のハナノキについて、樹勢を回復し、維持できるよう地元と協力して取組を進める。	事業の方向性 現状維持 見直して継続 拡大 ○ 縮小 ○ 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 ○ 現状 削減 人員 拡大 ○ 現状 削減	事業の方向性と資源の配分の内容 令和5年度以降 史跡の保存活用計画及び整備計画の策定

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります

- 施策 :03文化財の活用・愛護の普及

事務事業名
埋蔵文化財センター管理運営事業

指標名	文化財啓発事業の参加者人数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	197
指標の目標値	2,450人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	埋蔵文化財センター
関係法令 市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			東近江市歴史文化基本構想	関連計画	作成者	杉浦 隆支
事務事業概要	今日まで受け継がれてきた貴重なふるさとの歴史文化に市民に親しんでもらうとともに、かけがえないふるさとの歴史文化を保存継承するために、発掘調査で出土した遺物等の資料の調査・整理・保管を行い、また普及啓発のため出土品の展示や貸出等を行います。					予算	会計名 一般会計
						大事業コード	090000
						款項目	100506

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 出土遺物の保存管理 ・収蔵物の貸出及び資料掲載許可等 雪野山古墳石室写真等 21件 2 施設の維持管理 埋蔵文化財センター ・老朽設備の更新 蛍光灯・便器・ブラインド取替 外壁シーリング、タフロック工事	1	2,300人	1	2,350人	1	2,400人	1
指標の年度目標値 事業の優先度 事業の財源 職員数/人件費	Plan 1 (実績) Do 2	B	B	B	B	B	B	B
	決算額	国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 3千円 一般財源 8,259千円	8,262千円	予算額	国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 5千円 一般財源 8,394千円	8,399千円		
	正	0.45人 会計任	0.1人	3,427千円	正	0.35人 会計任	0.25人	2,844千円

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	2,200人	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 老朽化した設備の修繕を行い、長寿命化に取り組んだ。設備更新を継続して行う必要がある。		<改善内容> 市の埋蔵文化財発掘調査の核となる施設であるため、老朽化した設備改修について計画的に更新を実施していく。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
	現状維持	○	財源	拡大			
	見直して継続		現状	現状	○		
	拡大		削減	削減			
					人員		
					拡大		
					現状	○	
					削減		
					休止・廃止		
					完了		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :08豊かな歴史・文化・伝統をいかすまちをつくります

- 施策 :03文化財の活用・愛護の普及

事務事業名
埋蔵文化財活用事業

指標名	文化財啓発事業の参加者人数	指標	成果指標一覧のとおり	○新規	○ソフト	事務事業コード	5401
指標の目標値	2,450人	算出方法		継続	ハード	担当課名	埋蔵文化財センター
関係法令 市条例等	文化財保護法、文化財保護法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			東近江市歴史文化基本構想		作成者	杉浦 隆支
事務事業概要	地域の歴史や文化への理解や関心を深め、身近に感じてもらえるように、埋蔵文化財を活用した各種事業や小中学校の学習支援を実施します。			関連計画		予算	会計名 一般会計 大事業コード 070000 款項目 100506

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) (実績)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 埋蔵文化財等の普及啓発活動 ・「雪野山古墳出土品」展示とイベントの実施 10/15～11/20 能登川博物館 ・遺跡説明リーフレットの刊行 東近江の遺跡ほか2種 計1,600部 ・自治会等各種団体への出前講座・講演会等 親子フォーラム3件、研修2件 ・積極的な小・中学校の学習支援 愛東北、能登川東、能登川北 計3件 ・まいぶん体験教室等による埋蔵文化財にふれる 機会の提供 12/26 勾玉づくり 10名 Plan 1 Do 2	1 埋蔵文化財等の普及啓発活動 ・「雪野山古墳出土品」展示とイベントの実施 ・遺跡説明リーフレットの刊行 ・自治会等各種団体への出前講座・講演会等 ・積極的な小・中学校の学習支援 ・まいぶん体験教室等による埋蔵文化財にふれる 機会の提供 ・体験器材の作成	1 埋蔵文化財等の普及啓発活動 ・雪野山古墳展示とイベントの実施 ・遺跡説明リーフレットの刊行 ・自治会等各種団体への出前講座・講演会等 ・積極的な小・中学校の学習支援 ・まいぶん体験教室等による埋蔵文化財にふれる 機会の提供 ・体験器材の作製	1 埋蔵文化財等の普及啓発活動 ・百済寺遺跡展示とイベントの実施 ・遺跡説明リーフレットの刊行 ・自治会等各種団体への出前講座・講演会等 ・積極的な小・中学校の学習支援 ・まいぶん体験教室等による埋蔵文化財にふれる 機会の提供
指標の年度目標値	2,300人	2,350人	2,400人	2,450人
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 573千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 573千円	予算額 1,140千円 国庫支出金 195千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 945千円		
職員数/人件費	正 0.55人 会計任 0.1人 3,714千円	正 0.4人 会計任 0.15人 2,776千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	2,200人	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																											
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 冬休み埋文体験及び展示により、歴史学習、体験学習に対応した。 雪野山古墳出土品のレプリカ等を活用し、普及啓発をしていく必要がある。	<改善内容> 雪野山古墳出土品のレプリカ等の積極的な活用を図り、普及啓発事業を推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>拡大 〇 現状 ○ 削減</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>拡大 〇 現状 ○ 削減</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続		拡大 〇 現状 ○ 削減	拡大			縮小			事業統合	人員		手段見直			休止・廃止		拡大 〇 現状 ○ 削減	完了		
事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																												
現状維持	○ 財源																													
見直して継続		拡大 〇 現状 ○ 削減																												
拡大																														
縮小																														
事業統合	人員																													
手段見直																														
休止・廃止		拡大 〇 現状 ○ 削減																												
完了																														

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

- 施策 :01スポーツの推進

生涯スポーツ振興事業

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	150	
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	○ハード	担当課名	スポーツ課	
関係法令 市条例等	東近江市スポーツ推進振興審議会条例、東近江市スポーツ推進委員規則			関連計画	東近江市教育振興基本計画	作成者	堀喜博	
事務事業概要	生涯スポーツの普及・振興を図るため、スポーツ関係団体や学校などとの連携を図りながら、市民の健康・体力づくりに向けた各種スポーツ・レクリエーション活動の支援を進めます。					予算	会計名	一般会計
						大事業コード	020000	
						款項目	100601	

令和04年度 事務事業実績 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 スポーツ推進委員協議会 委員46人 ・ディスコン大会、健康ウォーク等の開催 ・幼児期の運動遊びの充実を図る取組 ・高齢者の健康づくり運動教室の開催 ・障害者スポーツの振興 ・運動支援ボランティア養成事業 2 スポーツ出前講座 年間56回 2,588人 ・ニュースポーツの普及、健康づくり支援 3 各種スポーツ団体への支援 ・市スポーツ協会 14地区スポーツ協会 26競技団体 ・地区スポーツ振興事業 14地区スポーツ協会 ・市スポーツ少年団 76団 団員数1,647人 4 スポーツ選手の育成支援 ・全国大会出場者激励 78個人 22団体 ・県民体育大会出場支援 29種目 427人派遣	1 スポーツ推進委員協議会 ・ディスコン大会、健康ウォーク等の開催 ・幼児期の運動遊びの充実を図る取組 ・高齢者の健康づくり運動教室の開催 ・障害者スポーツの振興 ・運動支援ボランティア育成支援事業 2 スポーツ出前講座 ・ニュースポーツの普及、健康づくり支援 3 各種スポーツ団体への支援 ・市スポーツ協会 ・地区スポーツ振興事業 ・市スポーツ少年団 4 スポーツ選手の育成支援 ・全国大会出場者激励 ・県民スポーツ大会出場支援	1 スポーツ推進委員協議会 ・ディスコン大会、健康ウォーク等の開催 ・幼児期の運動遊びの充実を図る取組 ・高齢者の健康づくり運動教室の開催 ・障害者スポーツの振興 ・運動支援ボランティア育成支援事業 2 スポーツ出前講座 ・ニュースポーツの普及、健康づくり支援 3 各種スポーツ団体への支援 ・市スポーツ協会 ・地区スポーツ振興事業 ・市スポーツ少年団 4 スポーツ選手の育成支援 ・全国大会出場者激励 ・県民スポーツ大会出場支援
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 18,740千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,689千円 一般財源 16,051千円	予算額 16,820千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 16,820千円		
職員数/人件費	正 1.2人 会計任 0.85人 9,018千円	正 1人 会計任 0.7人 7,615千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 子どもから高齢者までの運動・健康づくりについて、感染症対策を十分に講じながら取り組んできた。健康寿命を延ばす取組として、大学との連携事業で継続支援している体力アップ運動教室は、開催回数、参加者数の増加から、運動習慣に対するアプローチとして認識が広がっている。しかし、ニーズに対して、運動教室を実践できる場所が少なく、課題となっている。また、活動を広げていくための人員についても限定的で、人員確保も課題となる。	<改善内容> 気軽に持続可能な運動教室を行えるようにするには、地域住民が主体となり、集いの場を作っていくことが大切である。そのためにも、運動支援ボランティアの育成を行い、身近な地域で気軽に運動を楽しめる環境づくりを支援する。	事業の方向性 現状維持 ○ 見直しして継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了
			資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
事業の方向性と資源の配分の内容			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

- 施策 :01スポーツの推進

事務事業名
スポーツ施設管理運営事業

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	258	
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	スポーツ課	
関係法令 市条例等	東近江市スポーツ施設条例、東近江市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例			東近江市教育振興 基本計画	関連計画	作成者	堀喜博	
事務事業概要	効率的・効果的な運営を図るため、施設状況により指定管理者制度の導入を進めるとともに、市民に多くのスポーツ情報や施設利用状況を提供することにより、スポーツを楽しみ、仲間同士がふれあえる場所の充実を進めます。					予算	会計名	一般会計
						大業コード	020000	
						款項目	100602	

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 施設の維持管理 <委託施設> 愛知川河川敷広場 <指定管理施設> 総合運動公園、ひばり公園、永源寺運動公園、長山公園、蒲生運動公園、おくの運動公園、能登川アリーナ等 <18箇所55施設> 2 スポーツ施設器具修繕等 ・愛知川河川敷広場 乗用草刈機等修繕 ・布引陸上競技場 トレーニング室器具修繕 ・各施設屋外時計修繕(織公園、永源寺運動公園、ひばり公園) 3 スポーツ施設修繕等 ・各施設高圧トランス取替修繕(永源寺運動公園・湖東体育館) ・五個荘洗心館照明修繕 ・ひばり公園井水ポンプ取替修繕 ・ひばり公園浄化槽微細目スクリーン修繕 ・布引プールの過機循環ポンプ修繕 ・各施設トイレ修繕(総合運動公園、蒲生運動公園) 4 スポーツ施設用備品購入 5 [コロナ対策] 感染症拡大防止営業時間短縮協力金	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%	
事業の優先度	B		B		B		B	
事業の財源	431,801千円	決算額	国庫支出金	0千円	396,433千円	予算額	国庫支出金	0千円
		県支出金	0千円	県支出金		0千円		
		市債	0千円	市債		0千円		
		その他	60,532千円	その他		55,350千円		
		一般財源	371,269千円	一般財源		341,083千円		
職員数/人件費	正 1.35人 会計任 0.3人	9,808千円	正 1.05人 会計任 0.33人	7,637千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分											
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 施設の老朽化に伴う修繕を実施した。引き続き、施設の老朽化に伴う修繕を計画的に実施する必要がある。	<改善内容> 計画的に施設の老朽化による修繕を行い、安全なスポーツ環境の提供及び市民サービスの向上を図る。	Action 4	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容									
					現状維持	○ 財源	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡大			現状		○	削減		
					拡大											
					現状			○								
					削減											
見直しして継続	人員	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡大			現状		○	削減							
拡大																
現状				○												
削減																
拡大																
縮小																
事業統合																
手段見直し																
休止・廃止																
完了																

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

- 施策 :01スポーツの推進

事務事業名
学校体育施設開放事業

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	259
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	スポーツ課
関係法令 市条例等	東近江市学校体育施設開放条例			関連計画	東近江市教育振興 基本計画	作成者	堀 喜博
事務事業概要	学校体育施設を広く市民に開放することにより、身近でスポーツ活動を実践できる施設を提供し、地域住民のスポーツ環境の充実に図ります。					会計名	一般会計
						大事業コード	010000
						款項目	100602

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 学校体育施設の開放 ・開放施設：小学校22校、中学校9校 ・市内16運営委員会（地区、学校など）に委託支援 2 学校開放運営委員会の開催 ・施設利用調整会議 3 屋外用AED収納ボックスの設置 10校分 Plan 1 (実績) Do 2	1 学校体育施設の開放 ・開放施設：小学校22校、中学校9校 ・市内16運営委員会（地区、学校など）に委託支援 2 学校開放運営委員会の開催 ・施設利用調整会議 3 屋外用AED収納ボックスの設置	1 学校体育施設の開放 ・開放施設：小学校22校、中学校9校 ・市内16運営委員会（地区、学校など）に委託支援 2 学校開放運営委員会の開催 ・施設利用調整会議 3 屋外用AED収納ボックスの設置	1 学校体育施設の開放 ・開放施設：小学校22校、中学校9校 ・市内16運営委員会（地区、学校など）に委託支援 2 学校開放運営委員会の開催 ・施設利用調整会議
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	2,074千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,074千円	
一般財源	0千円			
職員数/人件費	正 0.6人 会計任 0.4人 4,471千円	正 0.52人 会計任 0.4人 4,026千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 学校体育施設開放運営委員会を開催し、利用調整を行うなど、身近なスポーツ環境の充実に図った。また、運営マニュアルに則って円滑に運用するとともに、連絡協議会を開催して各運営委員会間での情報共有を図った。今後も、マニュアルに則した運用が行われているかどうか点検し、より円滑な運用をすることが求められる。	<改善内容> 各学校体育施設の運営体制及び利用方法について、各運営委員会と連携を図り、円滑な事業運営を図る。また、利用者の安全を一層確保できる手法を研究する。	事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了
			資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
			事業の方向性と資源の配分の内容

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります
- 施策 :01スポーツの推進

事務事業名
スポーツレクリエーション推進事業

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	321
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	スポーツ課
関係法令 市条例等	-	関連計画		東近江市教育振興基本計画			
事務事業概要	生涯スポーツの普及・振興を図るため、スポーツ関係団体や学校などとの連携を図りながら、市民の健康・体力づくりに向けた各種スポーツ・レクリエーション活動の支援と、それらの活動を通じた交流の促進を図ります。						
作成者	堀 喜博						
		予算	会計名	一般会計			
			大事業コード	030000			
			款項目	100601			

令和04年度 事務事業実績 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度			
	1 各種スポーツ大会の開催・支援 ・市民体育大会 (一部種目)地区大会 8種目 2,355人 中央大会 7種目 716人 (二部種目)団体対抗 11種目 1,344人 (ニュースポーツ種目) ・ドラゴンカヌー大会 3部門 26チーム ・駅伝競走大会 4部門 34チーム ・元旦健康マラソン大会 (第60回記念) 936人 ・レディースバレーボール大会 2部門 12チーム	1回以上65%	3回以上30%	1回以上65%	3回以上30%	1回以上65%	3回以上30%	1回以上65%	3回以上30%	
(実績) Plan 1 Do 2	B		B		B		B			
事業の財源	決算額	6,365千円	国庫支出金	0千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円		
			市債	0千円	市債	0千円	市債	0千円		
			その他	0千円	その他	0千円	その他	0千円		
			一般財源	6,365千円	一般財源	3,865千円	一般財源	6,365千円		
職員数/人件費	正	0.8人	会計任	1.2人	8,020千円	正	0.75人	会計任	1.2人	7,790千円

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 一部中止となったものもあったが、各種大会の運営について関係機関と連携し、感染症対策を徹底する中で、円滑な運営を図ったところ、開催状況はコロナ以前にかなり近づいてきた。また、安全管理についても徹底し、各種事業の運営を図ることができた。各種大会における内容の一層の充実が求められており、関係機関と協議の上改善が必要である。		<改善内容> 各種大会について、引き続き、内容の充実と円滑な運営を図る。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
	現状維持	○	財源	拡大			
	見直して継続		現状	○			
	拡大		削減				
	縮小		人員	拡大			
事業統合		現状	○				
手段見直		削減					
休止・廃止							
完了							

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

- 施策 :01スポーツの推進

事務事業名 スポーツ施設整備事業	指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	ソフト	事務事業コード	322
	指標の目標値	1回以上65% 3回以上30%	算出方法		○継続	○ハード	担当課名	スポーツ課
	関係法令 市条例等	-		関連計画	東近江市教育振興 基本計画		作成者	堀 喜博
	事務事業概要	老朽化した施設の早期改修を行い計画的に整備を進めることにより、安全・安心に利用できる施設づくりに努めます。			予 算	会計名	一般会計	
						大 事 業 コ ー ド	030000	
						款 項 目	100602	

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) (実績) Plan 1 Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度		
		1 スポーツ施設整備事業 (1) 設計監理委託 ・ 緑公園改修工事監理業務 ・ 東近江市公園施設長寿命化計画更新業務 ・ 総合運動公園布引体育館・布引プール大規模改修工事設計業務 (2) スポーツ施設整備工事 ・ 緑公園改修工事 (3) 機械器具購入 ・ 湖東スタジアム ダグアウト・更衣室用備品 2 東近江市文化スポーツ学研ゾーン構想策定業務 ・ 東近江市文化スポーツ学研ゾーン構想策定【繰越明許】	1 スポーツ施設整備事業 ・ 計画的なスポーツ施設の改修等 設計監理委託 (繰越明許) ・ 総合運動公園布引体育館・布引プール大規模改修工事設計業務 5,032千円	1 スポーツ施設整備事業 ・ 計画的なスポーツ施設の改修等	1 スポーツ施設整備事業 ・ 計画的なスポーツ施設の改修等	
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%		
事業の優先度	A	A				
事業の財源	決算額 27,074千円	国庫支出金	4,300千円	予算額 207,000千円	国庫支出金	50,000千円
		県支出金	0千円		県支出金	0千円
		市債	13,800千円		市債	142,500千円
		その他	0千円		その他	8,000千円
		一般財源	8,974千円		一般財源	6,500千円
職員数/人件費	正 0.6人 会計任 0人 4,290千円	正 0.65人 会計任 0人 4,181千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 老朽化に伴う施設整備を計画的に実施した。引き続き、老朽化に伴う施設整備を計画的に実施する必要がある。 東近江市文化スポーツ学研ゾーン構想については、令和3年度からの繰越事業として検討を行い、(仮称)黒丸SIC設置を契機に、布引エリアにおいて新たなまちづくりを進めていくため、本市の未来を描いた道しるべとなる構想を策定した。	<改善内容> 引き続き、老朽化に伴う施設整備を計画的に行う。	事業の方向性 現状維持 ○ 財源 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了
			資源(財源・人)の配分 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
			事業の方向性と資源の配分の内容

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

○施策 :01スポーツの推進

事務事業名
総合型地域スポーツクラブ活動支援事業

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	ソフト	事務事業コード	4795
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30%	算出方法		継続	ハード	担当課名	スポーツ課
関係法令 市条例等	-	関連計画		東近江市教育振興 基本計画		作成者	堀 喜博
事務事業概要	生涯スポーツの普及・振興を図るため、地域に根差した総合型地域スポーツクラブ活動の支援を行い、市民の健康・体力づくりに向けた各種スポーツレクリエーション活動の支援とそれらの活動を通じた交流の促進を図る。					会計名	一般会計
						予算 大事業コード	040000
						款項目	100601

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 総合型地域スポーツクラブ活動の支援 ・地域に根ざしたスポーツ活動の充実 コミスボようかいち 健康倶楽部ごかしよう あいとうスポーツクラブ ことう健康夢クラブ 能登川総合スポーツクラブ あかねスポーツクラブ 奥永源寺スポーツクラブ ・健康寿命延伸に向けた取組 ・障害者スポーツの振興	1 総合型地域スポーツクラブ活動の支援 ・地域に根ざしたスポーツ活動の充実 コミスボようかいち 健康倶楽部ごかしよう あいとうスポーツクラブ ことう健康夢クラブ 能登川総合スポーツクラブ あかねスポーツクラブ 奥永源寺スポーツクラブ ・健康寿命延伸に向けた取組 ・障害者スポーツの振興	1 総合型地域スポーツクラブ活動の支援 ・地域に根ざしたスポーツ活動の充実 コミスボようかいち 健康倶楽部ごかしよう あいとうスポーツクラブ ことう健康夢クラブ 能登川総合スポーツクラブ あかねスポーツクラブ 奥永源寺スポーツクラブ ・健康寿命延伸に向けた取組 ・障害者スポーツの振興	1 総合型地域スポーツクラブ活動の支援 ・地域に根ざしたスポーツ活動の充実 コミスボようかいち 健康倶楽部ごかしよう あいとうスポーツクラブ ことう健康夢クラブ 能登川総合スポーツクラブ あかねスポーツクラブ 奥永源寺スポーツクラブ ・健康寿命延伸に向けた取組 ・障害者スポーツの振興
(実績) Plan 1 Do 2				
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%	1回以上65% 3回以上30%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	5,000千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
一般財源	5,000千円			
職員数/人件費	正 0.65人 会計任 0人 3,882千円	正 0.65人 会計任 0人 3,603千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 各総合型地域スポーツクラブが、身近な地域で気軽にスポーツができる機会の提供を行った。また、健康寿命の延伸に向けた運動教室や障害者スポーツへの取組も行った。 一方で会員数の減少や、指導員及び事務局員の高齢化による後継者不足も課題としてある中で、登録認証制度の導入に伴い必要な有資格者の配置をクリアし、活動を継続していくため、総合型地域スポーツクラブの在り方に関する検討協議を行った。	<改善内容> 引き続き市民ニーズや地域課題を解決するスポーツ・運動の機会の提供を図りながら、各クラブの在り方に関する協議を行う。	事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減	
					事業の方向性と資源の配分の内容	

東近江市総合計画 ～まちづくりの森を育てよう～ ■ 令和05年度 実施計画 / ◆ 令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります
- 施策 :01スポーツの推進

指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	7648
指標の目標値	1回以上65% 3回以上30% 目標年（令和07年度）	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	スポーツ課
関係法令市条例等	東近江市スポーツ推進振興審議会条例、東近江市スポーツ推進委員規則			関連計画	東近江市教育振興基本計画		
事務事業概要	生涯スポーツの普及・振興を図るため、スポーツ関係団体や学校などとの連携を図りながら、市民の健康・体力づくりに向けた各種スポーツ・レクリエーション活動の支援を進めます。				作成者	堀 喜博	
事務事業名	競技スポーツ推進事業				予算	会計名	一般会計
						大事業コード	050000
						款項目	100601

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	Plan 1 (実績) Do 2	1 MIOびわこ滋賀夢事業 小学5年生対象 21校 39クラス 1,041人 東近江バイオレッツ夢事業 小学4年生対象 16校 29クラス 847人 大会出場時のシティプロモーション 国スポ：東近江市アンバダサー受任		1 こどもスポーツ夢事業 レイラック滋賀FC 東近江バイオレッツ		1 こどもスポーツ夢事業 レイラック滋賀FC 東近江バイオレッツ		1 こどもスポーツ夢事業 レイラック滋賀FC 東近江バイオレッツ
指標の年度目標値	1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%		1回以上65% 3回以上30%	
事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額	2,070千円	予算額	2,296千円				
	国庫支出金	0千円	国庫支出金	0千円				
	県支出金	0千円	県支出金	0千円				
	市債	0千円	市債	0千円				
	その他	0千円	その他	0千円				
	一般財源	2,070千円	一般財源	2,296千円				
職員数/人件費	正	0.5人 会計任	0人	2,936千円	正	0.38人 会計任	0人	2,115千円



令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	1回以上47.3% 3回以上25.8%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 市内の小学生を対象にスポーツ選手からサッカーや硬式野球競技を学ぶ機会の充実を図り、競技力の向上やスポーツの機運醸成に努めた。 引き続き、スポーツ選手から直接競技を学ぶ機会を得る事業展開に努める。		<改善内容> 引き続き、市内の小学生を対象にスポーツ選手からサッカーや硬式野球競技を学ぶ機会を充実を図り、競技力の向上やスポーツの機運醸成を目的とする夢事業を行う。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容
					現状維持	○	財源	
					見直して継続		拡大	
					拡大		現状	○
					縮小		削減	
					事業統合 手段見直		人員	
				休止・廃止		拡大		
				完了		現状	○	
						削減		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

○施策 :02国民スポーツ大会等の開催に向けた体制の充実

事務事業名
国スポ・障スポ競技会場施設整備事業

指標名 適正な事務の執行（指標設定しない）
指標の目標値 - 目標年（令和07年度）

関係法令
市条例等 -

事務事業概要
令和7年の第79回国民スポーツ大会及び第24回全国障害者スポーツ大会の競技会場において大会競技規則に対応するため、計画的に改修し安全、安心に利用できる施設整備に努めます。

指標 -
算出方法

○新規
継続

ソフト
○ハード

東近江市教育振興
基本計画

事務事業コード 7317
担当課名 国スポ・障スポ
推進課

作成者 山本 成靖

予
算
会計名 一般会計
大事業コード 040000
款項目 100602

関連計画

令和04年度 事務事業実績

令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度				令和05年度				令和06年度				令和07年度					
	1 国スポ・障スポ競技会場施設整備事業 ・ひばり公園湖東スタジアム改修工事 (ラバーフェンス、トイレ改修バリアフリー化 更衣室改修、芝生張替え) ・大同川（伊庭内湖）浚渫工事設計業務				1 国スポ・障スポ競技会場施設整備事業 ・伊庭内湖自然環境調査 ・伊庭内湖自然環境調査結果に基づく保全対策 ・伊庭内湖水草除去、運搬処分 ・伊庭内湖水草除去、運搬処分 ・能登川グラウンド改修工事（芝生拡張、散水設備等）				1 国スポ・障スポ競技会場施設整備事業 ・伊庭内湖水草除去、運搬処分 ・伊庭内湖浚渫工事 ・伊庭内湖特設カヌーコース等設営、撤去 ・伊庭内湖特設カヌーコース等設営、撤去 ・能登川グラウンド芝生養生、維持管理 令和6年国スポリハーサル大会開催に向けた施設整備 令和7年国スポ本大会開催に向けた施設整備				1 国スポ・障スポ競技会場施設整備事業 ・伊庭内湖水草除去、運搬処分 ・伊庭内湖特設カヌーコース等設営、撤去 ・能登川グラウンド芝生養生、維持管理 令和7年国スポ本大会開催に向けた施設整備					
指標の年度目標値	-				-				-				-					
事業の優先度	-				-				-				-					
事業の財源	決算額 145,996千円	国庫支出金	0千円			予算額 91,822千円	国庫支出金	0千円			国庫支出金	76,233千円			市債	7,000千円		
		県支出金	21,708千円				県支出金	76,233千円				市債	7,000千円					
		市債	104,500千円				市債	7,000千円					その他	0千円				
		その他	0千円				その他	0千円						一般財源		19,788千円		
		一般財源	19,788千円				一般財源	8,589千円								職員数/人件費	正	2.4人
職員数/人件費	正	2.4人	会計任	0人	16,918千円	正	4.45人	会計任	0人	25,923千円								

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3	<改善内容> 令和7年の第79回国民スポーツ大会及び第24回全国障害者スポーツ大会の競技会場において、大会競技規則に対応するため、計画的に改修を進め、安全、安心に利用できる施設整備に努める。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容 令和7年開催予定の第79回国民スポーツ大会及び第24回全国障害者スポーツ大会の競技会場が大会競技規則に対応するよう計画的な施設整備を実施することによる事業費の増
		現状維持		財源		
		見直して継続		拡大	○	
		拡大	○	現状		
		縮小		削減		
事業統合 手段見直		人員				
休止・廃止		拡大	○			
完了		現状				
		削減				

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :09気軽にスポーツを楽しめるまちをつくります

○施策 :02国民スポーツ大会等の開催に向けた体制の充実

事務事業名
国スポ・障スポ大会推進事業

指標名 適正な事務の執行(指標設定しない)
指標の目標値 - 目標年(令和07年度)

関係法令 市条例等

事務事業概要 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会を組織し、各種基本計画等を策定します。計画に基づいて広報啓発活動等を実施し、機運の醸成に努め、令和7年の本大会が記憶に残る大会となるよう事業を進めます。

指標 -
算出方法
新規継続
ソフトハード
事務事業コード 7504
担当課名 国スポ・障スポ推進課
作成者 山本 成靖
予算 会計名 一般会計
大事業コード 070000
款項目 100601

令和04年度 事務事業実績 令和05年度 実施計画

Table with 4 columns: 令和04年度, 令和05年度, 令和06年度, 令和07年度. Rows include main content, target values, priority, and financial data.

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

Table with 3 main columns: 令和04年度 事務事業評価, 令和05年度の改善の取り組み, 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分.